

一般社団法人 日本インダストリアルイメージング協会
第 17 期 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日) 事業計画案

1. 2024 年度の基本方針

JIIA は会員各位の健康、安全を重視しつつ、国内外を問わず標準化に係わる活動を推進し、活動を通じて広く知見の共有と将来を見据えた人材発掘育成を JIIA 会員と共に目指して参ります。

具体的には、以下の通り活動して参ります。

(1) 設立目的に沿った活動の展開

- ・ JIIA 定款第 3 条 1 項に謳っている設立目的を着実に実行することを基本とする。

(2) G3 を基盤とした標準化に関する活動に積極関与

- ・ G3 傘下で活動している IVSM、FSF に積極的な関与を継続し、国内外の展示会、フォーラム、ビジネスカンファレンスへ参加していく。

(3) 国際規格標準化への積極寄与

- ・ マシンビジョン規格の国際標準化の動向に積極的に直接関与する為に「国際規格推進委員会」を中心に国際規格標準化に積極関与する。
- ・ ITU-T 規格への対応は TTC と連携し規格化をトレースし、G3 規格の ITU-T 標準化提案を目指す。
- ・ ISO による G3 規格の国際標準化の国内委員会に担当委員会が参加し公正な標準化に寄与する。

(4) アソシエート・ディベロップメント活動の充実を図る

- ・ マシンビジョンを取り巻く技術を専門とする他団体との連携の深化を推進する。
- ・ 会員間の交流を推進するため、セミナー、交流会、メールマガジン、技術発信の機会を充実させる
- ・ 通信、AI、ロボット等に関連する企業、大学、研究機関などへ JIIA 会員への参画を促すべく積極的な活動を継続し会員数の増加を図る。

(5) 独立行政法人東京都産業技術研究センターとの協力を維持、強化

- ・ JIIA 及び G3 が管轄する既存の各種規格を始め、今後新たに審議し、規格化していく画像技術の電氣的、機械的な評価精度を一層向上させるために東京都産業技術研究センターとの協力関係を維持、強化していく。

(6) 理事会活動の実行力の強化

- ・ 理事に加え各委員会の人員を強化し JIIA 活動の実行力を高める。

（７）事務局体制を強化

- ・ JIIA 活動を下支えする事務局体制の更なる強化とスポット的なリソース要求に対応することのできる体制を構築する。

これらの基本方針に則り、アソシエート・ディベロップメントおよび各委員会の詳細な活動計画をご提案申し上げます。

２．アソシエート・ディベロップメント

JIIA 設立のひとつの目的であり、活動の基本である日本の Machine Vision 業界に貢献し、Machine Vision 業界に関わる企業、団体との交流を盛んにすることから、2023 年度に引き続き、2024 年度も JIIA 会員に向けたイベント開催や他団体との交流、親交を深めていきます。

特に Vision のニーズが高まっているロボットビジョンに対し、ロボット革命イニシアチブ協議会（RRI）との連携活動を進め、RRI 会員と JIIA 会員の双方が持つロボットシステムに関するテーマをもとにシンポジウムを開催することを計画しています。

また、コロナ禍ではできなかった JIIA 会員同士の交流を深めるための場を対面形式、Web 形式を使いながら開催していきます。

2024 年度のイベント、活動計画は下記の通りとなります。

- 1) 技術セミナー 3 回（7 月、10 月、2 月）予定
- 2) ビジネスマッチングセミナー 2 回（9 月、1 月）予定
- 3) RRI とのシンポジウム 4 回（5 月、8 月、11 月、3 月を予定）
- 4) 連携団体が出展する展示会での JIIA 紹介パネル展示、ミニセミナー開催
- 5) 連携団体が開催するイベント情報、セミナー情報を JIIA 会員へ紹介
- 6) 連携他団体へ JIIA 活動を開示（他団体のメルマガなどを活用）

３．標準化委員会

■ 展示会、セミナー等における普及活動

5 月：Automate 展（アメリカ：シカゴ）への出展

6 月：画像センシング展において International Machine Vision Standards Booth で展示及び JIIA セミナーの開催

7 月：Vision China 展（中国：上海）への出展

9 月：JIIA セミナーの開催

10 月：Vision Stuttgart 展（ドイツ：シュトゥットガルト）への出展

12 月：国際画像機器展において International Machine Vision Standards Booth で展示及び JIIA セミナーの開催

2025 年 3 月：JIIA セミナーの開催

JIIA セミナーは東京以外の地方開催の方針で計画します。

■ G3 規格化会議

4 月： IVSM 参加（JIIA 主催）：日本/山梨・東京

10 月： IVSM 参加（VDMA 主催）：スイス/フラウエンフェルト

G3 規格の ITU-T 勧告化については、国際規格推進委員会と協力して取り組みます。

■ デジュール国際標準化会議

6 月： ISO ニューヨーク会議参加：アメリカ/ニューヨーク、オンライン

12 月： ISO シドニー会議参加：オーストラリア/シドニー、オンライン

■ マシンビジョン普及活動

各分科会で進めている標準化、規格化活動及びこれまでの活動成果をベースにマシンビジョンの普及活動に努める。グローバルかつあらゆる分野に拡大を続けるマシンビジョンを会員企業様にわかりやすく紹介し、業界のさらなる発展に貢献します。

■ 分科会活動

分科会間の交流を図るため、合同分科会や、各分科会を一定日程で密に集中しての開催を予定するほか、分科会内での議論を活性化するため、オンライン開催から対面やハイブリッドでの開催への転換を図ります。

(1) CoaXPress 分科会

- ・ Version3.0 開発では同軸ケーブルでの CXP-25 以上の速度の開発と光インターフェースの統合を検討します。同軸規格用の新コネクタの評価と光インターフェース用の小型コネクタの検討を他団体規格と連携し議論を行います。
- ・ 相互接続試験において Validation Frame Work 試験の必須化を推進するために、GenICam 規格の一部開放を実現します。
- ・ 認証試験（Virtual を含む PlugFest、ECT）を 6 回開催します。
- ・ 電気適合試験設備のメンテナンスを実施し継続的な試験、認証体制の維持を行います。
- ・ IVSM において CoaXPress 会議を主催し、技術者の規格理解共有を推進します。
- ・ 展示会等での技術デモなどを通し、規格の理解と普及の推進を行います。

(2) USB3 Vision 分科会

- ・ IVSM フォローを中心とした USB3/4Vision の規格化動向の共有と提案活動を引き続き実施します。
- ・ 一方で USB Implementors Forum で規定される標準規格 (USB Power Delivery ECM/Type-C/USB4) に対する JIIA 会員内でのニーズを調査し、USB3 Vision 規格への取り込みを提案する活動を検討します。

(3) Camera Link 分科会

- ・ Version 3.0（主に GenICam 対応）の議論が始まり、具体的な内容が示された時点で、JIIA 側として

の見解をまとめるための活動を再開し、必要があれば提案を行います。

(4) GigE Vision 分科会

- ・ IVSM のフォローを中心とした規格化動向の共有、また、GenICam 分科会と連携し、制御を含めた規格の理解と普及を推進します。

(5) 光伝送メディア分科会

- ・ 主査を早期に選任し、分科会を再開します。
- ・ 新提案があれば、規格紹介資料を改訂して、展示会、セミナーなどを通じてアピールする活動を行います。

(6) Embedded Vision I/F 分科会

- ・ 展示会での動展示・静展示やセミナー等を通じて SLVS-EC の普及活動を行います。
- ・ Use Case の議論、及び、Use Case に向けた実証実験を行います。

(7) コネクタ&ケーブル認証制度分科会

- ・ ガイドラインをもとに市場、顧客（ロボットメーカー、実装機メーカー、カメラメーカー）への認知活動を行います。
- ・ 次の認証対象候補である GigE 規格コネクタの必要性確認も行う予定です。

(8) IIDC2 分科会

- ・ Version 1.3.0 検討作業及び規格書発行予定です。

(9) GenICam 分科会

- ・ IVSM のフォローを中心とした規格化動向を共有し、規格の理解と普及を推進します。

(10) カメラ仕様分科会

- ・ EMVA1288 の ISO 化について、JIIA おける審議の場として活動を行い、国際標準化を支援します。

(11) 照明分科会

- ・ 2021 年度に実施した GenICam 実装ワークショップのフォローアップを継続し、GenICam 対応の周辺機器開発の理解および普及に努めます。
- ・ 既存の規格書およびガイドラインを見直し MV 市場にて、より一層活用されるドキュメントとして改定作業に取り組みます。

(12) レンズ分科会

- ・ 既存規格の定期見直しを含め、標準仕様の拡充を図ります。
- ・ 画像の MTF 特性測定方法など、カメラ・撮影レンズに関する光学系技術などの講演会や勉強会を計画的に実施します。

(13) 高忠実度色再現分科会

- ・ ITU 勧告への取り組みに関連して休止していた分科会を開催し、継続する場合は今後の活動の方針について、分科会の廃止・継続も含め協議します。

4. 国際規格推進委員会

総務省認可の TTC（一般社団法人 情報通信技術委員会）に引続き会員として参画し、マルチメディア応用専門委員会マシンビジョン SWG（サブワーキンググループ）の委員として中心的役割を担い、定例、或は臨時招集提案による会合への積極的参加、議論を行い、ITU-T（International Telecommunication Union-Telecommunication Standardization Sector 国際電気通信連合 電気通信標準化部門）へのマシンビジョン関連規格改善案、並びに新規規格案の発案を行います。

ITU-T の SG16 Associates 会員として参画、提案されているマシンビジョン関連規格の調査分析、規格策定会合における発言あるいは寄書提出による規格の改善の実施、新規マシンビジョン関連規格の提案等による、国際標準規格化への積極的な関与と G3 及び JIIA の標準化の反映を主眼として引続き活動します。

JIIA 会員への寄与として以下の活動を推進していきます。

- (1) CxO Roundtable で発表した内容に基づき、G3 とともにマシンビジョン・テクノロジーの中期展望を踏まえた標準化活動を進めていきます。
- (2) TTC マシンビジョン分科会の活動を通して、ITU-T、本邦総務省通信規格課での議論の内容を踏まえ、マシンビジョン関連規格の国際標準化の動向、情報を可能な範囲で JIIA 会員へセミナーなどの手段を持って開示、提供します。
- (3) ITU-T 内での動向を踏まえ、G3 内で既に規格化されている技術、或いは議論している規格自体の知的財産を最大限保護するための情報収集に努めます。
- (4) ITU-T の SG16 Associates 会員として参画、JIIA 会員の GSAC 内のサブワーキンググループ内への参加を募ります。

■ 活動スケジュール

- | | |
|-----------------------------------|------------|
| ・ TTC マルチメディア応用専門委員会マシンビジョン分科会 | ： 常時 |
| ・ ITU-T SG16 本会合 （フランス・レンヌ） | ： 4 月 |
| ・ ITU-T SG16 中間会合 （場所未定） | ： 8 月末 |
| ・ 国際画像センシング展、機器展におけるセミナー開催 | ： 6 月、12 月 |
| ・ CxO Round Table | ： 12 月 |
| ・ ITU-T SG16 本会合 （ジュネーブ・スイス） | ： 1 月 |
| ・ ITU-T SG16 本会合内でのマシンビジョンワークショップ | ： 1 月 |

以上の通り、2024 年度の活動計画をご提案致します。